

◆TQM奨励賞 2024◆

(株) 神戸製鋼所 素形材事業部門 銅板ユニット

株式会社 神戸製鋼所 素形材事業部門 銅板ユニットでは、銅板条製品の開発・製造・販売を行っており、自動車部品メーカー様向けの端子用素材と、IT 関係や自動車に使用される半導体用のリードフレーム素材が主力の製品です。

これらの殆どが自社で開発した製品ですが、これらの技術や経験値は属人化されたものも多く、正しく継承されずに大きな失敗も経験してきました。特に、課題感の大きかった、「お客様のニーズを正しく理解すること」と「PDCA サイクルを正しく回すこと」に関して、TQM を活用し個人ではなく組織として課題を解決していくことを掲げ、2021 年度より KOBELCO-TQM と称して、次の4点を推進してきました。

1) お客様視点の徹底

『品質の定義』と全員参加による『品質宣言』による品質意識の定着化

2) 方針管理の体系化 (PDCA)

経営目標 (ROIC) に対応した改善業務の設定 (KPI) および管理体系の明確化

3) 日常管理のレベルアップ (SDCA)

操業部門、スタッフ部門、営業部門の標準・ルールの再整備と遵守

4) 小集団活動の活性化

『エントリー提案』と称した改善提案活動と学ぶ機会の提供

TQM の導入により次のような成果が表れ始めています。

1) お客様視点の徹底により、お客様と業務の繋がりを理解し品質意識が向上しています。

2) 方針管理により、損益分岐点の改善やお客様満足度が向上しています。

3) 日常管理により、属人化していた作業の標準化など標準文化醸成の基盤ができました。

4) 学ぶ姿勢に積極性が生まれ、お客様を意識した改善活動が浸透してきました。

未だ道半ばですが、今後も TQM を通じて『一人一人が、“前向きな挑戦に伸び伸び取り組んでいる”活力のある組織』を構築し、お客様と私達にとって替えの利かない銅板ユニットとなるよう邁進します。そして、すべてのステークホルダーの皆さまにとって“魅力ある企業”へと変革をすすめ、「安全・安心で豊かな暮らしの中で、今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。」の実現を目指してまいります。

所在地：山口県下関市

受賞理由

株式会社神戸製鋼所素形材事業部門銅板ユニットは、電子部品の材料となる銅板を開発・生産・販売している。2021 年度より「お客様ニーズの理解」を目的に TQM への取り組みを開始した。TQM の特徴は、ユニット長のリーダーシップによる全従業員への品質意識の向上、方針管理に基づく改善活動の展開、「エントリー提案」と称した改善提案制度などである。結果として、厳しい経営環境の中、損益分岐点を改善、顧客満足度も向上した。また多くの KPI も改善傾向にある。今後も TQM を活用して組織能力を高め、経営課題の解決を図ることで、ますますの成長が期待できる。